

オブジェクトの暗号化について

- ✓ オブジェクトの暗号化について
- ✓ 暗号化の手順

オブジェクトの暗号化について

- ✓ XFtdtdにはオブジェクトの暗号化機能(Encrypt)があります。
- ✓ 開発元のサポートサイトもご確認ください。

<https://support.remcom.com/xfdttd/reference/general/object-encryption.html>

- ✓ ユーザーは、オブジェクトに関連する情報を保護するために、オブジェクトをパスワードで保護することができます。
- ✓ 暗号化できるオブジェクトは以下の通りです。
 - ✓ Geometry
 - ✓ Circuit components
 - ✓ Material definitions
 - ✓ Circuit component definitions
- ✓ 暗号化された情報は、パスワードを再入力することで閲覧および編集することができます。
- ✓ この機能により、許可されたユーザーのみが情報にアクセスできるようになり、社外のプロジェクトでもシミュレーションの共有が可能になります。

- ✓ 暗号化されたオブジェクトは、権限のないユーザーから以下のように保護されます。
 - ✓ 暗号化されたオブジェクトのプロパティは表示できません。
 - ✓ 暗号化されたオブジェクトのプロパティは編集することができません。
 - ✓ 暗号化されたオブジェクトへのスクリプトアクセスは全て拒否されます。
 - ✓ マテリアルまたはコンポーネントが暗号化されている場合、メッシュ情報をエクスポートできません。
 - ✓ 暗号化されたコンポーネント定義情報はメッシュビューに表示されません。
 - ✓ 暗号化されたマテリアルの名前、色、ノートのみがライブラリに表示されます。
 - ✓ マテリアルの暗号化された状態は、ライブラリビューに表示されません。
 - ✓ 暗号化されたコンポーネントの名前とノートだけがライブラリに表示されます。
 - ✓ コンポーネントの暗号化された状態がライブラリビューに表示されません。
 - ✓ 暗号化されたジオメトリは、パーツリストでの表示、モデリング操作、メッシュの表示、センサーの使用、CAD ファイルへのエクスポートができません。

暗号化の手順

- ✓ プロジェクトツリーで暗号化したいオブジェクトを右クリックして暗号化 (Encrypt) を選択します。
- ✓ パスワード入力画面が表示されるのでパスワードを入力します。
- ✓ 暗号化を解除するときは、同じ手順でDecryptを選択し、パスワードを入力します。

